

『第9回同窓生の集う会』仙台開催のご案内

皆様方には、毎日健康でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、過日開催の同窓会理事会にて、第9回同窓生の集う会を、私ども八戸工業大学同窓会・東北支部が担当し、杜の都仙台的地で開催することが決定致しました。

すでに仙台に来られた事の有る方・無い方がおありでしょうが、是非ともご参加頂き、母校の懐かしい先生・同級生・先輩後輩の方々と、さらなる友好を深めてみませんか？きっとすばらしい出会い・感動があると思います。友人・知人・先輩・後輩等お誘い合わせの上、ご家族も含め、皆さんで是非ともご来仙下さい。

東北支部一同

◎日時 2009年9月12日（土）第一部17:00～ 第二部18:00～

◎場所 仙台サンプラザ 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-11-1 TEL. 022-257-3333

<http://www.sendai-sunplaza.com/hotel.html>

◎会費 6,000円

◎懇親会での主なイベント

・講演：川尻哲郎氏（プロ野球解説者）

☆プロフィール アマ日本代表→阪神→近鉄→楽天とプロ生活11年

ノーヒットノーラン 1998年5月26日中日戦（倉敷）

同年オフの日米野球でMLB選抜を0点に抑える好投！

・余興：『すずめ踊り』、『シャンソン歌手による歌唱』他

◎その他

・2次会も設定しています。

・参加者全員にお土産があります。

・宿泊施設の紹介もあります。

・当日は『定禅寺ストリートジャズフェスティバル』も開催中です。

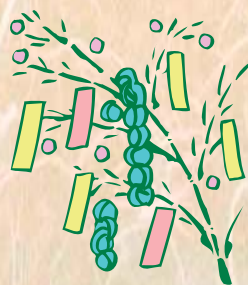
※予定表・携帯・手帳等へのスケジュールで、何卒参加願いたく存じます。

宜しく願い申し上げます。



9月12日

仙台で待ってるよ！！



第15号

8月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局

TEL:0178-25-8027

FAX:0178-25-6183

印刷・編集 榊イーピーエス

メールマガジン会員 登録のご案内

登録手順1 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順2 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



第4回八戸工業大学同窓会 北海道支部道南分会総会のご案内

日時 平成21年10月10日（土） 18時30分より総会及び懇親会

場所 活魚海鮮料理・季節一品料理 「よし庵」

函館市亀田町17-22 電話 0138-42-7611

（国道5号線沿い、五稜郭駅から約1km函館駅寄り、大野新道入口バス停前）

会費 4,000円

参加予定 同窓会長 白川 直人（建築） 函工卒
北海道支部長 大道 宏満（電気） 大学教職員

*参加及び不参加の連絡は、道南分会事務局 山本浩道（土木9期・帝都建設勤務）（函工卒）まで、FAX及びPC及び携帯へのメール等をお願いします。

PC h-yama@yk-teito.co.jp 携帯 090-8903-7905 eng-architect@docomo.ne.jp
帝都建設㈱ 電話 0138-43-3100 FAX 0138-43-9670 締切 9月15日位迄です。

平成20年度八戸工業大学同窓会事業報告及び決算報告

自平成20年4月1日～至平成21年3月31日

事業報告

決算報告

<本部>

月 日	事業内容
6月21日 (土)	定例代議員会 18時30分
8月23日 (土)	大学OB対抗ゴルフ大会 7時00分 大学OB交流会 18時00分
8月30日 (土)	本部総会北海道開催(北海道支部主催) 第一部記念講演 17時30分 第二部集う会 19時00分
9月30日 (火)	同窓会報(第14号)発行
10月19日 (日)	定例理事会 15時00分
11月17日 (月)	工大グループ同窓会連絡会 18時30分
2月13日 (金)	メディアセンター安全祈願祭
3月19日 (木)	学位記授与式
3月19日 (木)	定例理事会 14時00分

<分会>

月 日	事業内容
5月8日 (木)	東北支部幹事会 19時00分
5月10日 (土)	水交会役員会 17時30分
5月24日 (土)	学匠会幹事会 18時30分
6月28日 (土)	秋田支部総会 18時30分
7月19日 (土)	東北支部総会 ボーリング大会 15時00分 懇親会 18時00分 蒼峰会役員派遣 18時00分
8月2日 (土)	シビル会幹事会 18時00分 懇親会 19時00分
8月30日 (土)	北海道支部幹事会 16時00分 本部総会北海道開催 19時00分
10月6日 (月)	福田苔米地線橋梁補修工事 現場見学会(シビル会) 10時00分
10月12日 (日)	いも煮会(蒼峰会) 19時00分
10月18日 (土)	うみねこ会懇親会 18時00分
11月7日 (金)	橋本教授講演会・祝賀会(拓北会)
11月22日 (土)	拓北会役員会
12月5日 (金)	水交会関東支部役員候補者 選出に関する打ち合わせ 18時30分
12月17日 (水)	地域防災と維持管理・ 第1回フォーラム(拓北会)
1月22日 (木)	水交会関東支部役員候補者 選出に関する打ち合わせ 19時00分
1月30日 (金)	うみねこ会幹事会 13時00分
2月10日 (火)	卒業発表会(拓北会)
2月15日 (日)	拓北会役員会
2月21日～ 22日	卒業設計展・公開審査会(拓北会)
3月27日 (金)	水交会関東支部役員候補者 選出に関する打ち合わせ 19時00分
3月19日 (木)	各学科分会

一般会計 収入の部

項 目	予算額	決算額	差 異
会費	8,780,000	8,640,000	△ 140,000
雑収入	40,000	52,792	12,792
前年度繰越金	9,418,297	9,418,297	0
収入総計	18,238,297	18,111,089	△ 127,208

支出の部

項 目	予算額	決算額	差 異
会議費	600,000	238,000	362,000
旅費交通費	1,100,000	811,300	288,700
印刷費	900,000	672,000	228,000
通信費	1,900,000	1,384,974	515,026
支部関係	1,400,000	980,510	419,490
運営費関係	500,000	31,185	468,815
分会助成費関係	1,800,000	831,622	968,378
業務委託費	300,000	0	300,000
積立金	2,000,000	2,000,000	0
慶弔費関係	500,000	287,295	212,705
予備費	7,238,297	623,410	6,614,887
支出総計	18,238,297	7,860,296	10,378,001

特別会計

項 目	予算額	決算額	差 異
当期積立金	2,000,000	2,000,000	0
前年度繰越金	14,000,000	14,000,000	0
計	16,000,000	16,000,000	0

収入総計(決算額)－支出総計(決算額)=次期繰越金 10,250,793円

平成20年度の監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成21年6月26日

監事 千葉 兼喜
監事 石藤 千春

平成21年度

「第7回 北海道支部総会」

我々八戸工業大学同窓会北海道支部においては、皆様のおかげをもちまして、平成21年7月11日（土）ホテルパコジャーススキノにて、「第7回 北海道支部総会」（同窓生の集う会）を佐藤先生・竹内先生をはじめ多数の教職員・同窓生総勢48名の参加を頂き、無事行うことが出来ました。

早いもので、合同とした同窓会北海道支部発足より7年の歳月が過ぎ、昨年にあつては、本部総会を兼ねて行うなど、少しずつではありますが、成長してきているのではないかと、思うものであります。これも一重に、同窓会各位様のお力添えあつての



ものと深く感謝申し上げます。また、お忙しい中ご出席頂いた先生の方々、並びに遠方より参加頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

内容にあつては、北海道を代表するマジシャン「きどこうたろう氏」によるマジックショー、また、今回より新幹事に選出されました中村幹事調達の豪華景品に、本支部を代表する宴会部長である永田相談役の卓越したゲーム進行も加わり、旧友と共に白熱した一時を過ごすことができました。

八戸工業大学同窓会北海道支部

支部長 大道 宏満

同窓会 秋田支部総会開催

平成21年7月4日（土）18時から、秋田県秋田市の協働大町ビルにおいて秋田支部総会が開催されました。卒業生は18名の参加があり、大学から福士憲一・教授と月永洋一・教授、高橋良英・教授、阿波 稔・准教授の4名が出席されました。ゴルフコンペや旧友に誘われて遠くは仙台、関東方面からの参加者もありました。総会では支部長の明珍 勲氏（土木工学科・昭和54年卒）の挨拶の後、福士教授より大学の近況が報告された。また総会の席上、出席者の自己紹介のショートスピーチに加えて、大学への要望などについて忌憚のない意見交換がなされた。

日頃疎遠になりつつある卒業生同士や恩師との情報交換や交流を深めながら、同窓であることの絆を再確認し、今年も二次会・・・まで大



いに盛り上がる会となりました。参加いただいた大学教員ならび同窓生各位に対して厚くお礼を申し上げます。

なお、来年度の支部総会も7月上旬に開催する予定です。詳しくは同窓会HPおよびメルマガでご案内します。多くの同窓会会員の参加を心よりお待ちしております。

（同窓会秋田支部事務局）

saxa 当社は優れた技術力と高い品質により、お客様から信頼される知的創造集団を目指します

主なる営業品目：
通信・情報機器のソフトウェア開発、システム製品等の販売

サクサシステムエンジニアリング株式会社

八戸本社 八戸市北インター工業 団地1-3-54 TEL:0178-20-4555	東京オフィス 東京都品川区東五 反田1-7-6 TEL:03-5789-3911	相模原オフィス 神奈川県相模原市宮下3- 14-15 TEL:042-772-4941
---	--	---

株式会社ザックス
http://www.i-zax.com

理化学機器・放射線関連機器・試薬
エアフィルター等の販売
化学工場及び研究施設の運転・保守
計量証明・化学分析業務 等

八戸営業所 八戸市類家3丁目1-21
Tel:0178-73-3620

事業所：東通村、六ヶ所村、大間、八戸

Canon Consulting Solution Service Support Network

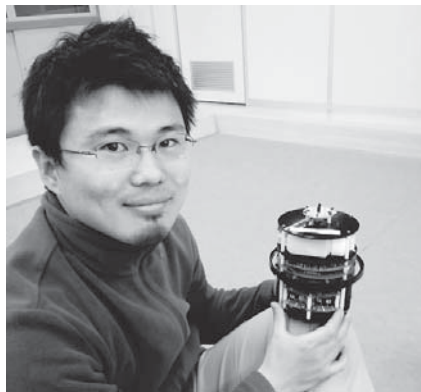
お客様のIT戦略の
あらゆるニーズにお応えします。

キヤノンシステムアンドサポート株式会社

東北営業本部 青森支店 八戸事業所
〒031-0813 青森県 八戸市 新井田字鷹清水5
TEL 0178-32-3371 / FAX 0178-32-3376
http://www.canon-sas.co.jp

蒼峰会 活動報告

今年の4月に八戸工業大学・機械情報技術学科の助教に就任した藤澤隆介です。出身は、茨城県つくば市です。学部は電気通信大学、博士前期課程は北陸先端



科学技術大学院大学、博士後期課程は電気通信大学で、ずっと群ロボットに関する研究を行ってきました。

博士前期課程からフェロモン・コミュニケーションを行うロボット群に関する研究を行っています。研究手法としては、

大規模な群れを扱うときには計算機シミュレーション、実証実験としてロボットを使っています。フェロモンとは、同種の他個体になんらかの影響を及ぼす生体から分泌される化学物質の総称であり、様々な生物がコミュニケーション手段としてフェロモンを用いています。フェロモン・コミュニケーションとは、フェロモンを用いたコミュニケーションであり、可塑的・局所的・間接的・化学的な特徴があります。

我々人間が、自動車などで車道に出ると様々な道路標識を目にすることができます。これらの道路標識は、「環境に残った情報源」と言えます。情報が環境に残ることによって、交通事故を減らしたり、道に迷うことが少なくなっています。具体的には、交差点に一時停止標識を設置するだけで事故が減ります。つまり、

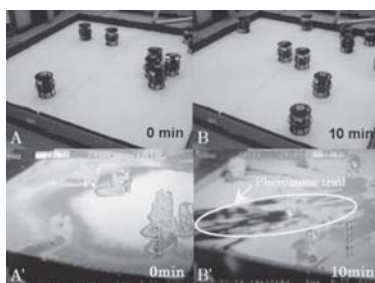
自律的に活動する群れ（自動車の運転者たち）にとつて環境に情報があることは非常に重要な意味があります。



私の研究は、自律型のロボット群のアルゴリズムです。自律型のロボット群が限定された環境中で活動するというのは、多数のドライバーが車で車道を走ることと似ています。

蟻は、餌と巣の間にフェロモンの道（フェロモン・トレイル）を作つて、行列を成して餌を採ることが知られています。この行為は、「環境に情報を残す」ことに他なりません。そのため、ロボット工学やプログラムだけではなく、蟻や白蟻の社会行動を扱う社会生物学や動物行動学を研究に取り入れています。

今までに行ってきた研究は、ロボット間のコミュニケーション手法に関する基礎的な研究でした。八戸工業大学では、これまでの研究を発展させるとともに、新たに社会貢献が可能な応用研究にも積極的に挑戦し、学生達と共に研究を進めていきたいと思っています。



(上) 実験画像

ロボット10台による実験の様子。左に餌、右に巣があり、餌・巣間にフェロモン・トレイルを敷設する。

(下) サーモグラフィ画像

フェロモン・トレイル（環境に残った情報）の様子を可視化できる



青葉水道サービス有限会社



八戸圏域水道企業団指定工事店
八戸市指定下水道事業者

蛇口のパッキン取替から
φ1000mmの水道管布設まで

八戸市類家三丁目5-5
TEL 0178-43-4726

◎ 茨城日立情報サービス株式会社

HITACHI
Inspire the Next

人と社会に「快適で安全な環境」を提供しています

■革新的なイマジネーションと先進技術でチャレンジしています■

WEBシステムなどのネットワーク構築から水道・道路・鉄道などの公共事業システム、原子力・火力関連のエンジニアリングまで人と社会が求めるあらゆる分野のコンピューティングに最適なソリューションを提案しています。

〒319-1221
茨城県日立市大みか町三丁目18番1号
TEL 0294-53-8111(代表) <http://www.hitachi-ijss.co.jp/>



クリーンな水と空気を創造する企業！

八戸設備株式会社

冷暖房空調・給排水衛生 各種設備工事 設計施工
代表取締役 荒沢 重治

031-0801

青森県八戸市江陽二丁目19-33

TEL 0178-22-7438 FAX 0178-45-2819

URL <http://www.hasetu.com>

水交会活動報告

同窓会報第15号掲載記事

電子知能システム学科 水交会二ニュース

■水交会新会長挨拶

水交会新会長

福士 信雄（昭和52年電気工学科卒）
拝啓



水交会会長就任に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。平成21年5月22日に開催されました水交会総会において、初代菅野会長の後を引き継ぎ、会長を務めさせて頂くことになりました。このような大役である会長に就任し、その責任の重さを痛

感しているところでございます。私自身、今回会長就任前までは副会長を務めさせて頂いておりましたが、今までは水交会総会があつても出席者が大変少ない状況にありました。今後は大学及び同窓会のチャンネルを上手く活用してもっと情報ネットワークを構築できたらと思います。そして気楽に集まれるような、情報交換ができるような、魅力ある水交会を目指し、全力を尽くして取り組んで行きたいと思っております。会員の皆様方には今後とも大学及び水交会の発展のために、これまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任の挨拶とさせて頂きます。

敬具

■OB・OGだより

小笠原 拓司 さん

平成12年 大学院博士前期課程電気電子工学専攻修了

（坂本研究室）

現在：青森県立八戸工科学院

制御システム工学科 技師

現在、私は青森県立八戸工科学院という職業訓練施設で、高



等学校卒業者を対象にシーケンス制御や電気工事などの指導を行っています。大学時代に講義で使用したノートや演習問題集などは、卒業し10年経った現在でも授業を行う際の重要参考資料となっております。指導してくださった各先生方に感謝する毎日

です。先日久しぶりに大学へ訪れる機会があり、私が在学中していた頃との変わりように驚かされました。学内にはコンピュータ室や自動車整備実習棟など最新の施設・設備が充実しているほか、周辺には高速道路ICが施設され、アクセスが容易となるなど、益々魅力的な大学になったと感じました。他県などにお住まいで、しばらく大学を訪れる機会がなかった皆さんも機会を見て訪問してみたいかがですか？当時とは違う魅力ある大学を感じることが出来ると思います。

■同窓生としての抱負

金田 和弥 さん

平成21年電子知能システム学科卒
就職先：本田技研工業株式会社



八戸工業大学に入学し4年間という学生生活の中で将来の夢を見つけたことが出来ました。自分がやりたいことを見つけたのは本当に大変なことですが、これも大学での経験やめぐり会えた仲間たちや先生方のおかげだと思っています。夢を実現するために今の会社に入社しましたが、今の仕事を自分の一生の仕事と決め付けず幅広い視野を持つて仕事に取り組んでいきたいと思っています。他に夢が見つかったらそれに向かって努力していきたいです。今年は百年に一度の不況だと言われていると思いますが、私はそんなことは気にせず将来の夢に向かい日々精進していくだけです。

■同窓生に贈る言葉

八戸工業大学での三十七年

准教授 横地 司夫 先生（平成21年3月退職）

私は、本学開学の昭和47年4月に赴任して参りました。電気



工学科では一回生80名の入学生を迎え、初年度は講義が本館で行われ、2年目からは電気工学棟が新築され、講義、実験とも専門棟で行われるようになりました。実験は準備が出来ていなかったため手作りの装置も含めて実験を行い、卒業研修も同様で

戸賀沢さんの協力を得て準備を進め実験、卒研を行いました。卒業研修では、研究室には数年間は門脇先生に配属の学生、私に配属の学生が共同で卒業研修を行っていました。卒業研修は50万ボルトの試験変圧器を用いた端子の活線洗浄、磁性材料など色々のテーマの卒業研修を行った卒研生との一年間、また、講義、実験そして担任としての学生との思い出を思い起こしています。37年間勤めることが出来たのも、私の為にご支援を下さった卒業生、教職員の皆様に感謝致します。末筆ですが卒業生諸君の御活躍を祈念いたします。

■学科近況報告

電子知能システム学科長 関 秀廣 先生

学科創設以来37年間御奉職戴いた横地弓夫先生には3月で御退職になられ、今年度は非常勤で御尽力戴いています。また、去る1月27日に技術員馬場明さんが逝去されました。大学において33年勤務され、学科にとって大きな礎でありました。謹んでご冥福をお祈り致します。今年度からは、技術員として戸賀沢晃さんを再びお迎えしております。

さて、学科ではここ2年をかけて改革を進めています。まず、今年度はカリキュラムの大幅な見直しを図りました。また、平成22年4月からは学科名称を新しい電気電子システム学科に変更致します。今年是中国からの留学生を含む女子学生が3名入学するなど話題豊富な年です。まだまだ改革の途上ですが、水交会の皆様には今後とも厚い御支援を戴きますようお願い致します。



シビル会 活動報告

1. 第1回HCL (Hachinohe Civil Lady)

土木交流会



八戸工業大学環境建設工学科の女子学生で作るサークルHCL (Hachinohe Civil Lady)主催の第一回土木交流会―青森からの発信―が平成21年2月21日(土)に八戸工業大学で開催されました。HCLは、「女性でも土木系・建設系分野で活躍できるは!」という思いを胸に女子学生が立ち上げたサークルです。この

交流会は、多くの関係者と情報交換を図るために開催されました。八戸工大、八戸高専、遠くは関東学院大学の女子学生、教員・建設業および行政関係者など約50名が参加しました。交流会は、実験施設見学、記念講演およびパネルディスカッションを行いました。実験施設見学では、環境建設工学科三年生の館知美さん(構造工学研究室、八戸工大二高)と館早苗さん(構造工学研究室、聖ウルスラ学院高)がコンクリート供試体の300t圧縮試験を実施しました。続いて行われた記念講演では、土木工学科21期卒業生であり土木技術者として活躍中の館洋子さんによる「硫黄固化体(レコサール)関連の新事業取組について」と題し

た記念講演が行われ、土木事業における女性技術者の活躍の一例が紹介されました。

パネルディスカッション(コーディネーター・長谷川明教授)では、女性土木技術者の就職が難しい理由(産休や仕事内容)や、土木に携わる女性のイメージについて、活発な議論が行われました。今後、HCLの活動が起爆剤となり土木工学分野で女性が活躍することで、女性の感性を活かした住みやすい社会の構築に繋がっていくことが大いに期待されます。

2. 大学院生 立花大地君

土木学会東北支部研究奨励賞受賞

環境建設工学科29期卒業生であり、大学院二年の立花大地君(地盤工学研究室、八戸工業高校)が平成20年度土木学会東北支部研究奨励賞を受賞し、平成21年5月15日に仙台市で行われた土木学会東北支部通常総会において表彰されました。この賞は、3月に行われた平成20年度土木学会東北支部技術研究発表会において35才未満の若手研究者により発表された論文を対象として審査され、優

れた研究成果を発表した論文の発表者に授与されます。研究タイトルは、「地盤中の汚染物質輸送に関するパラメータの分子シミュレーションによる推定」であり、近年社会問題となっている廃棄物不法投棄現場などにおける地盤環境問題に



関連した地盤中の汚染物質輸送問題のマクロな数値解析手法として用いられる移流分散解析のパラメータをナノレベルの分子シミュレーションにより推定・説明しようとするアイデアと有用性・将来性が高く評価されました。

3. 八戸地区大規模断水発生

環境建設工学科の対応

新年早々、八戸地域で導水管破損による大規模断水が発生し、市民生活や産業に大きな影響を与えました。この事故に対して、環境

建設工学科は福士憲一教授(環境工学研究室)が、八戸圏域水道企業団事故調査委員会委員長に就任し、導水管破損の原因究明の調査と復旧活動の指導に当たりました。また、同企業団導水管漏水事故対応検証委員会の委員にも就任し、事故の事実経過、企業団の対応・広報等の問題点などについて検証しました。また、1月2日朝から、本学の水道水(専用地下水、消毒済・飲料可)蛇口6本を市民に開放し非常用携帯ポリ袋(企業団提供)も準備するなどの対応を行いました。

夢を建てる歓びを。

日建学院

建築士/宅建/建設関連資格

40th
ANNIVERSARY
2009

お問合せ・資料請求・試験情報は

日建学院コールセンター

0120-243-229

受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝祭日は除きます)
株式会社建築資料研究社 東京都豊島区西池袋1-15-7

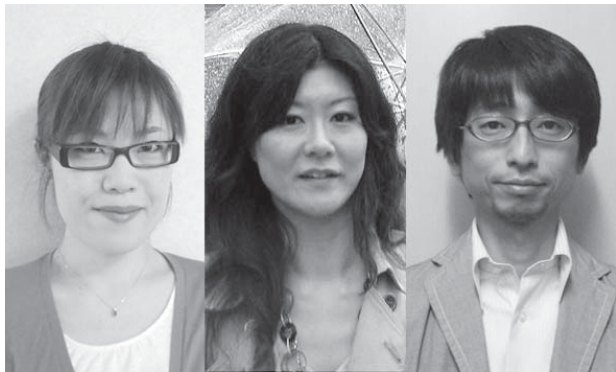
日建学院

検索

拓北会 活動報告

「学生向けに発信します!」

地元建築士



昨年度、先生方と

役員を中心とした会

員に「拓北会につい

てのアンケート調

査」を実施いたしま

した。同窓会や大学

へ向けてのご意見、

各種提案、協力しま

すという暖かいご意

見などが寄せられま

した。このアンケー

トを参考に今年はお

来ることから積極的

にチャレンジしてみ

る一年にしようと思

置づけています。ま

ずは6月中旬に地元若手一級建築士同窓生三名による

学生向け授業を予定。後期はベテラン社会人達による

授業も企画。また、学科や学生向けに研究課題提案

をしている同窓生もいたりします。メディアセンター

も完成する年でもあり「八工大・学生・同窓会・皆が

元気に!」小さな行動をコツコツと、それが楽しく繋

がって大きな輪になりますように。活動報告は同窓会

HPで発信しますのでご意見もどしどしお寄せ下さい。

学生の活動―八戸を元気にする力

八戸工業大学博士課程前期一年 小野 清隆

私は八戸市で生まれ育ちました。特に中心市街地にはよく遊びに行っていたため、想い出が多い場所です。



しかし近年八戸の中心街には空き店舗が増え、活気が消えつつあります。その現状を私は寂しく感じていました。そんな時、中心街に活気を取り戻そうと活動している人々に出会いました。彼らは八戸の魅力、街の魅力を観光客や八戸市民に伝える活動をしてい

ました。その中で私は中心街の 명소・旧跡を巡ったり、市民の活動を伝える「まちなかミュージアムツアー」というイベント活動の手伝いをさせてもらいました。彼らは企画から運営まですべてをメンバーと市民、市役所の協力で行っていました。大学院の先輩は以前から活動に参加しており、ツアー実行委員長という大役も務めていました。私が初めて参加したツアーは天気

もよく無事成功させることができました。ツアー参加者からは「新しい八戸の魅力を発見できた」「若者が活発に八戸のために活動しているのが嬉しい」などの声をいただきスタッフ一同納得のいく結果になりました。

ツアーも回数を重ね、これまでに桜のきれいな春に2回、紅葉のきれいな秋に1回と計3回行うことができました。また秋のツアーと同日に市民とまちの活性化を考える討論会を開催し、市民の方々とこれからの八

戸の魅力や課題などを話し合う場を設けることができました。この討論会で八戸にも多くの地元が好きながいることがわかり、これからの活動の励みとなりました。今ではメンバーともすっかり顔なじみとなり、新しい八戸の味覚の紹介や八戸の新しい顔となる八戸ポータルミュージアムのプレイベント（施設の周知、利用方法の考案を誘発するイベント）などの様々な活動に参加しています。八戸が好きで私に自分も何か八戸のためにできることがあると教えてくれた先輩と大学に感謝し、一人でも多くの人が八戸を好きになってくれることを想いながら現在も活動を続けています。

● 研究室紹介

都市計画研究室

石川 宏之

都市計画研究室では、地域振興のためにミュージアム活動により地域遺産をネットワーク化し、総合的に地域遺産を管理運営していくことができるものと考え、これらをミュージアム活動によるエリアマネジメントと呼び、建築・都市計画に関する研究課題としています。具体的には、フランスのエコミュージアムとイギリスでの類似事例をはじめ、山形県朝日町や神奈川県川崎市におけるエコミュージアムについてその運動体の活動状況や管理運営の方法を捉え、行政との協働で取り組む民間組織の実態を明らかにしてきました。

青森県八戸市南郷区島守でも農林水産省の補助を受けて美しい景観や自然、伝統文化を展示物に見立て、地域を「屋根のない博物館」として保全活用する田園空間博物館事業や、八戸市中心市街地では地域観光交流施設を拠点としたワールドミュージアム構想を推進しています。今後これらの事業の活動支援に取り組んでいきたいと考えています。

学匠会 活動報告

近況報告

エネルギー工学科第12期生 田高 昭人

エネルギー工学科12期生（平成9年卒）の田高（タコウ）です。数えてみれば卒業してから早12年たちますが、今回は近況報告とすることで簡単に述べさせて頂きたいと思ひます。

まずは仕事環境ですが、なんと未だに八戸工業大学へ通っている状態です。それはというと、卒業してすぐにケミカルサポート（株）（現：（株）ザックス）という会社へ入社しました。業務内容は、理化学機器、試薬、放射線関連商品などの販売です。最初は北里大学、六ヶ所の再処理工場など研究施設をメインに営業しておりましたが入社して二年後、会社側から八戸工業大学も営業するよう求められ、手探り状態で八戸工業大学へ飛び込みました。やはり最初からうまくいくわけがなく挫折感を味わった時期もございましたが、今では八戸工業大学の先生方に大変良くして頂き、毎日仕事として八戸工業大学へ通っている次第であります。たぶん学生の時より通っているかも（冗談？）会社自体も私が入社した時は創立三年ぐらいいしかたつておらず、社員10人前後の会社でしたが12年たった今では不況も物ともせず社員150人以上となり急成長を続けている会社です。http://www.i-zax.com

家庭の方とはというと子供二人と妻の四大家族で小さなマイホームでごく普通の暮らしをしています。9月にはもう一大家族が増える予定でこの先も当分子供のことで一杯になりそうな今日この頃です。今、家庭茶園に燃えに燃えています！

バイオ環境工学科に名称変更

2009年度から、生物環境化学工学科はバイオ環境工学科へ名称変更しました。その理由は、今後ともその重要性が高まっているバイオテクノロジーと環境修復・保全に

かかわる環境工学の両分野の研究開発に対応すべく教育研究内容を発展させるためです。これにより、地域産業の高度技術化や環境・食品・化学産業等で要請のある技術者を育成するためです。

バイオ環境工学科はバイオサイエンスと環境工学（科学）の2本柱から構成されており、遺伝子組み換え・食品の高性能化、環境修復および環境分析などを可能としています。

バイオ系教員を増員

本年4月から藤田敏明先生が着任されました。先生は昭和45年生まれで、長崎県出身、琉球大学卒業後、北海道大学大学院で博士号（水産学）を取得され、北海道大学博士研究員を経て着任しました。藤田先生の研究分野は、そのまま本学科のバイオサイエンスの大きな柱となります。

● 藤田敏明准教授あいさつ



研究テーマは魚卵の膜（卵膜）形成過程の解明で、免疫生化学や遺伝子組み換え技術を用いた研究を行っています。卵膜形成の分子メカニズムを解明することは、種苗生産効率に直接的に関わる重要な事項であり研究過程で開発した蛋白並びに遺伝子の検出・定量法が養殖魚の早期雌雄判別、雌魚の成熟度判定、環境汚染評価および採集した魚卵の種判別などに応用できます。これら蛋白・遺伝子の解析技術等に興味をお持ちの方あるいは共同研究を希望される方がおりましたら、お気軽にご連絡ください。

■ 食品衛生管理者の養成校に認定

バイオ環境工学科は食品衛生管理者・食品衛生監視員の国家資格が取得できる養成校として認定されました。食品衛生管理者・食品衛生監視員は厚生労働省が認定する国家資格で、本学科で開講される指定の科目を修得すれば卒業と同時にその国家資格を得ることができます。

乳製品、食肉製品、食用油脂などを製造・加工する施設では、食品衛生管理者の国家資格を有する者を置くことが義務づけられています（食品衛生法第48条）。そして、この国家資格取得者は食の安全確保のための知識や技術を有

する者として、社会において高く評価されています。また、保健所などの公的機関に所属する食品衛生監視員は、食品販売業者や外食産業などの食品を取り扱っている業者に対する衛生状況の監視、あるいは輸入食品の監視業務や試験検査などの業務を行い、食品衛生に関する業務を担当する公務員には必ず必要です。

北東北の大学工学部で、食品衛生管理者・食品衛生監視員の養成校となっているのはバイオ環境工学科だけです。ビール・チーズなどの食品製造プラント（工場）の実習や環境影響評価に関わる演習の体験と同時に、食品衛生管理者・食品衛生監視員の養成も同時進行することで、食品づくりから食品衛生までの総合的な力を身につけることができます。

■ 教職理科免許が追加に

平成21年度入学生より、所定の単位を修得することにより、高等学校教諭一種の教職免許状（理科）の取得が可能となりました。

そのため、本学科ではあわせて3種類の教育職員免許状を取得可能になりました。

- ・ 高等学校教諭一種免許状（理科）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（工業）
- ・ 中学校教諭一種免許状（技術）

現時点では、一年生の半数の学生が理科免許の取得を目指しています。

■ 小山信次教授が退職

2009年3月末をもって、小山信次教授が退職なされました。小山先生は、昭和48年に産業機械工学科の講師として着任後、エネルギー工学科開設にあたりカリキュラムの作成やエネルギー棟の設計などを手がけました。また、平成14年から生物環境化学工学科において、ホタテ貝殻の有効利用に関する研究開発を行い、水虫治療薬など多くの製品を作り出してきました。本学のベンチャービジネスのさきがけです。我々、学匠会の人間は小山先生の講義を受け、またいろいろな面で大変にお世話になりました。小山信次先生には、長い間、大学の発展に貢献されてきたことに感謝するとともに、今後の活躍とご健康をお祈り申し上げます。

うみねこ会 活動報告

■清野大樹先生定年

昭和51年に一般教育の物理の教員として本学に赴任しました。その年は、3月に本学が創設してはじめての卒業生第一期生を送り出した年であり、4月には新たに土木工学科と建築工学科の2学科が開設され、新しい学科の第一期新生が入学してきた年でした。

当時は創設間もないため知名度は高くはなく、青森、北海道、秋田、岩手出身の学生が多かったです。その後、エネルギー工学科が開設され、第二次ベビーブームの学生が入学するようになると、全国から学生が集まるようになりました。

私は、一般教育から情報システム研究所を経て、最後は



最終講義（2009年1月21日）

システム情報工学科に所属して、今年3月三十三年間勤務して定年退職しました。その間、物理を一貫して教えてきました。それ以外にも、卒研では、システム情報工学科だけでなくエネルギー工学科と機械工学科の学生と一緒に行いました。いろいろな学生に出会いました。本学の学生の特色は、個性的でかつ活動力・生活力のある学生が多いと感じています。今年一年はま

だ非常勤講師として本学で教鞭をとっています。卒業生が来て話をしてくれると嬉しいものです。時間が有るとき大に顔を出してください。

■OB・OG近況報告

○今井 遼（平成19年度卒業：日立エンジニアリング・アンド・サービス㈱）

私は今、日立市に住んでいます。入社して一年が経ち会社生活もだいぶ慣れてきました。最初は毎日不安でいっぱいでしたが、次第に同期や先輩方と親しくなり新しい生活に馴染むようになりました。今の業務は原子力サイトに納める制御盤の品質保証をしています。電気的な回路の試験を繰り返し、製品がしっかりと動作するよう毎日励んでいます。といっても、私は情報科出身であり電気のこととは今まで学んでいなく、毎日覚えることがたくさんです。実際今も先輩方と一緒に仕事することが多く、一つ一つ教えてもらいながら仕事をしています。まだまだ覚えることがたくさんあり大変ですが、そこもやりがいがあるのかと感じています。私生活では、先輩に誘われた社会人バスケットに毎週参加しています。様々な年代とバスケットをするのは初めてで大変楽しく、毎週楽しみにしています。まだまだこれから色々あると思いますが、楽しく頑張っていこうかと思っています。

○岩織靖典（平成19年度卒業：サクサシステムエンジニアリング㈱）

サクサシステムエンジニアリング㈱に入社して1年が経過しました。私は現在組み込み系ソフトウェアの開発に携わっています。業務内容は主に開発物の試験を行っています。最近になって少しずつ設計や開発の業務を行うようになりました。仕事をやり始めて思ったことは、以前からSEの仕事は人とのコミュニケーションが大切と聞いていましたが、まさにその通りだと思いました。自分の意見や質問を、相手に正確に伝えることは、とても難しいです。ですが、コミュニケーションは仕事の上だけでなく、社会で生きていくためにはとても大切なことなので、しっかりと会話能力を高めていきたいと思っています。プログラミング言語などの専門知識は、開発していく上で自然に身につけてきているので、製造過程ではとても楽しいと感じてい

ます。週に1回のスポーツサークルや、昼休みの空き時間などに体を動かして、気分転換も出来ているので、適度に充実した社会人生活を送ることができています。まだまだ新米社会人なので、これからも精進していこうと思います。

○木田 庸（平成19年度卒業：八戸工業大学大学院）

私は大学入学時システムエンジニアになりたいと思い進学しました。4年間、専門科目を学び卒業研修では情報から離れ、電子・電気の世界に足を踏み入れました。しかし、卒業研修が中途半端な形で終わってしまったため、また、情報だけではなく電子・電気に興味を持ち八戸工業大学大学院工学研究科電子電気・情報工学専攻に進み、卒業研修と同じ研究テーマで引き続き研究しています。大学院入学して、はじめは先輩とうまく話せず研究を黙々とするものが多かった私ですが、アドバイスをしたり、積極的に話かけたり、発表内容を聞いたりしていく内に事象に対する捕らえ方考え方の他に人とのコミュニケーション能力をつけることができました。

現在、就職活動を行いながら9月に行われる中間発表会に向けて日々精進しています。

■第7回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で七年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加可能ですので、是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会Webページなどでお知らせします。また、今年度はシステム情報工学科の20周年記念行事を行う予定ですのでご期待ください。

開催日：平成21年10月10日（土）〈学園祭1日目〉

内容：学内で幹事会、その後八戸市内で懇親会を予定しています。

申し込み先：katsuj@hi-tech.ac.jp
うみねこ会 URL：http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/

感性同窓会 活動報告

1. 卒業生のみなさんへ

感性デザイン学部 感性デザイン学科 学科長／教授 坂本 禎智

感性デザイン学科一期生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。仕事に慣れるまでにはまだ時間がかかるものと思いますが、それぞれの場で元気に活躍のことと思います。また、これから仕事に取り組んでいく中で、迷いや不安が生じる場面もたくさんあるうかと思いますが、その時には、大学で身につけた「福祉・健康・くらし」の知識や、「創造・表現」能力、「コミュニケーション」能力を活かして乗り切って欲しいと願っております。私たち教職員スタッフは、何年経つても皆さんのことが気にかかるものです。悩み事などありましたらいつでもご相談ください。時々大学に顔を出し、メールでも結構ですので、皆さんの仕事ぶりや近況もお聞かせください。皆さんと一緒に歩み、作ってきた感性デザイン学科は、この春の新入生から創造・表現能力育成に関わる科目を大幅に増設し、「ビジュアルデザイン」と「住環境デザイン」の2コース制で教育を実施しています。また「中学美術」「高校美術」「高校工芸」の教職課程も認可され、4年後には、このような教育を受けた卒業生も続きます。皆さんはいま、感性デザイン学科の卒業生として先頭を切って社会の荒波の中を進んでおります。皆さんの



のこれからの活躍を心から祈りすると共に、健康に留意され快適な日々を過ごされまうに願っております。

2. 「感性デザイン同窓会」会長あいさつ

感性デザイン学部 感性デザイン学科 第一期生 平 章秀

同窓会会員の皆様、初めてごあいさつ申し上げます。感性デザイン学科第一期生として感性デザイン学科同窓会の会長を務めます。平章秀と申します。今年3月に大学を卒業し、現在は、東北ペプシコーラ販売株式会社八戸営業所に勤めております。就職してまだ数か月ではありますが、仕事の厳しさと自分の未熟さを痛感する毎日です。と同時に、大学で学んだ時間がいかに充実していたか、どれほど恵まれた環境に置かれていたかを改めて思い起こしています。感性デザイン学科で養った多様な物の考え方や人間関係力を最大限活かせるよう、今後も粘り強く仕事に取り組んでいきたいと考えております。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

3. 在学生からのメッセージ

感性デザイン学部 3学年 感性デザイン学科 高橋まどか

感性デザイン学部一期生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？大学で先輩方と講義の合間や放課後に雑談をしたり、勉強を教えてもらったりした日々が懐かしく思い出されます。また、先輩方がいらつしやらないキャンパスを少し寂しく感じております。社会人の生活はいかがでしょうか。先輩方は感性デザイン学部の一期生ということもあり、様々な苦労があったと思います。

私は現在、講義や資格試験の勉強などに忙しく充実した日々を過ごしています。私の学生生



在学生より (4年生全員)

活も残り半分を切ってしまいました。限られた時間の中でどれだけ多くの事を学び、糧にするかは自分の意欲次第だと思っています。今後残りの学生生活で多くの事を吸収し、先輩方のように明るい未来を切り開ける人間を目指して日々努力していきたいと思っています。

4. 同窓会事務局より

感性デザイン学部 感性デザイン学科 講師 安部 信行

この度、感性デザイン学科の同窓会事務局を担当させていただくことになりました。感性デザイン学部感性デザイン学科講師の安部信行です。どうぞよろしくお願い致します。この度、初めて感性デザイン学科から卒業生を輩出することができ、そして同窓会が立ち上がったことを本当にうれしく思います。私は八戸工業大学のOBです。本学で、これまで大変お世話になってきた経緯もあるので、今度は事務局として貢献させていただきたいと思っています。

3月に一期生を送り出し、時々とても寂しくなります。みんな元気にやっているだろうか？大丈夫だろうか？と心配になるところがあります。一期生とは、私が大学院生でTAをしていた頃からの付き合いで、教員に採用されてからも3年間、毎日のように関わっていたこともあり、特別な存在です。ですから、卒業生のみなさん、大学の近くにいらした際には是非とも感性デザイン棟へ立ち寄ってください。いつでも大歓迎致します。最後に、個人的な報告ですが、4月に結婚しました。研究室に所属していた卒業生には結婚式にも参加していただき、とても幸せでした。

同窓会ニュース

受賞おめでとございます。

藤田和博さんの作品が優秀賞に輝く

「アート&テクノロジー東北2009」

「アート&テクノロジー研究会（岩手大学他）が主催するコンテスト「アート&テクノロジー東北2009」に、本学から応募した作品が優秀賞に輝いた。

このコンテストは、優れたデジタルアート作品や制作支援技術を表彰しているもので、受賞した作品はこの春システム情報工学科を卒業した藤田和博さん（青森県出身）が、卒業研修の環境で製作したボクシングの動きを取り入れて遊ぶゲームコンテンツで、タイトルは「これが世界のジャブや」。

今回のコンテストには、全国から静止画作品・映像作品・インタラクティブ作品など75点の応募があり、5月30日、盛岡市のギャラリーアイーナで開催されたデモンストラレーション展示会で審査が行われ、藤田さんの作品が5点の優秀賞の一つに選ばれた。



立花大地さん

「土木学会東北支部研究奨励賞」

受賞

5月15日、土木工学専攻博士前期課程の立花大地さん（青森県出身）が、「平成20年度土木学会東北支部研究奨励賞」を受賞し、同支部より表彰状と記念メダルが贈られた。



佐々木崇徳さん

「電気学会東北支部優秀論文賞」

受賞

この春電気電子工学専攻博士後期課程を修了した佐々木崇徳さん（本

学任期付研究員）が、「平成20年度電気学会東北支部優秀論文賞」を受賞し、4月24日に東北大学で開催された同支部通常総会の席上で表彰を受けた。



月永洋一教授

日本コンクリート工学協会賞「功労賞」を受賞

5月26日、東京都千代田区の都市センターホールで開催された「日本コンクリート協会第42回通常総会」において、同協会の諸事業及びコンクリート工学の発展に多大なる貢献をしたとして17名に功労賞が贈られ、本学土木建築工学科の月永教授が、名誉ある受賞者の一人に選ばれた。

エコカーの実証研究が採択

本学が青森県と共同企画し提案した「EV（電気自動車）・PHV（プラグインハイブリッド車）導入による低炭素地域モデル構築事業」が、経済産業省の新規事業「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」に採択された。この事業は、地球温暖化対策として経済産業省が公募したもので、全国で36件の提案が採択された。

本事業の実施期間は、平成22年2月まで、事業総額は1億6千万円、経済産業省が全額補助する。また、この事業には県内外の企業、大学、自治体等が参加し、次の事業を展開していくことになっている。①EV導入によるCO₂削減効果の見える化と「エコポイント」との連動、充電インフラの利便性を高める地域通信ネットワークの構築（CO₂削減効果の定量化・可視化、エコポイントとの連携、実走行データによる消費電力予測モデルの構築、給電スタンドの設置による場所情報や利用状況等のリアルタイムでの提供）

②EV・PHV普及のあい路解消に向けた歩車間車両接近通知システムの開発（携帯情報端末に車両の接近を通知するシステムの構築）

東北大学・八戸工業大学・青森県

連携融合事業開始式

二酸化炭素を出さない持続的なエネルギー源として、原子力の重要性が増している。原子燃料サイクル、原子力発電など多くの事業所が立地する青森県は、最近では核融合エネルギーの国際研究活動が始まるなど、今後原子力分野の拠点としての発

展が期待されている。こうした背景のもとに、東北大学・八戸工業大学・青森県連携融合事業がスタートすることになり、その開始式が5月25日に青森市で開催された。

この事業は、原子力の教育・研究を3つの機関がそれぞれの特色を活かして六ヶ所地域などで展開し、原子力の人材育成や地域の活性化に繋げようとするものである。東北大学は

新原子力利用技術の基礎研究、八戸工業大学はエネルギー利用システムの基礎研究などを行い、青森県は研究や研修のためのインフラ整備を支援することになっている。地元大学として本学の新たな取り組みが期待されている。



（写真左から古川健治六ヶ所村長、三村申吾青森県知事、井上明久東北大学総長、庄谷征美本学学長、櫻井繁樹文部科学省審議官）

■同窓生に贈る言葉

八戸工業大学の三十七年

准教授 横地 弓夫 先生（平成21年3月退職）

私は、本学開学の昭和47年4月に赴任して参りました。電気工学科では一回生80名の入学生を迎え、初年度は講義が本館で行われ、2年目からは電気工学棟が新築され、講義、実験とも専門棟で行われるようになりました。実験は準備が出来ていなかったので手作りの装置も含めて実験を行い、卒業研修も同様で戸賀沢さんの協力を得て準備を進め実験、卒研を行いました。卒業研修では、研究室には数年间は門脇先生に配属の学生、私に配属の学生が共同で卒業研修を行っていました。卒業研修は50万ボルトの試験変圧器を用いた碍子の活線洗浄、磁性材料など色々のテーマの卒業研修を行った卒研生との一年間、また、講義、実験そして担任としての学生との思い出を思い起こしています。37年間勤めることが出来たのも、私の為にご支援を下さった卒業生、教職員の皆様に感謝致します。末筆ですが卒業生諸君の御活躍を祈念いたします。

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局（学務部学生課）

TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科（機械情報技術学科事務局）
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科（電子知能システム学科事務局）
TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木工学科・環境建設工学科（シビル会事務局）
TEL.0178-25-8067 E-mail:dosokai-c@hi-tech.ac.jp

建築工学科（建築工学科事務局）
TEL.0178-25-8040 E-mail:dosokai-a@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境科学工学科（生物環境化学工学科事務局）
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科（システム情報工学科事務局）
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科（感性デザイン学科事務局）
TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで、電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

皆様からお預かりしている個人情報をご確認いただくために、お預かりしている情報を印字して毎年発送しております。また、皆様の身近な方で、住所が不明な方のお名前を掲載しております。会報が発送できないだけでなく、同窓会・同期会開催時のお知らせなどをお送りすることができませんので、住所判明にご協力をお願いします。

住所不明の方に事務局の連絡先をお教え頂き、事務局宛にご連絡いただけるようお願いのだけで十分です。プライバシーマーク認定会社に管理を委託しておりますので、安心して情報をお寄せください。

貴方の整理番号です。

住所未確認（不明者）リスト

現在、住所が判らず会報等がお届けできない方々です。貴方の同期に近い方と、ご近所の方を抜粋しました。

ご存知の方がいらっしゃいましたら、情報をお寄せ下さい。また、ご提供いただきました情報の取り扱いについては細心の注意を払っておりますので、安心して情報をお寄せ下さい。

住所・お勤め先が変わられた方で、FAXをご利用の際ご利用下さい。

同窓会活動を永続的なものとするために賛助金（ご寄付）を募っております。任意ではございますが、ご協力をお願いいたします。

現在、同窓会で預かりしている貴方の情報です。

貴方の学籍番号です。

住所未確認者をお知らせいただくにご利用下さい。

お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。

同封物の見方

《お問い合わせ》

フリーダイヤル 0120-10-9899（内線92）平日10:00～16:00

フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付